

令和8年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第3回） 議事録

日時：令和8年6月22日（月）
午前10時00分～11時45分
場所：佐久市役所 602会議室

【出席者】中澤副部長、滝沢委員、渡辺委員、井出委員、二村委員
伊藤(康)委員、木内委員、飯沼委員、伊藤(明)委員、川崎委員
【事務局】藤巻企画課長、小林企画調整係長、竹内土地調整係長、鷲見主任、
中澤主任、久保田主事

○協議事項等
次第

- 1 開会
 - ・副部長挨拶
 - ・欠席委員報告（阿部委員）
- 2 議事
 - (1) 第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第3章）及び第三次佐久市総合計画の取組内容（第3章）について
質疑、意見

副部長	議題の（１）「第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第3章）及び第三次佐久市総合計画の取組内容（第3章）について」事務局から説明をお願いします。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第3章）については時間の都合により説明割愛 第三次佐久市総合計画の取組内容（第3章）の「農業」について基本計画策定シート【経済・産業分野】「農業」に基づき説明
副部長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	認定農業者数とは具体的にどのようなものか。
事務局	認定農業者は、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営改善計画を市に提出し、認定を受けた農業者である。意欲的に農業経営に取り組む担い手として位置付けられる。
委員	一定の実績や規模がなければ認定の申請には至らないという理解でよいか。個人で農業を一生懸命行っている人でも、申請をしていなければ認定農業者数には含まれないと

	いうことか。
事務局	規模に関わらず、経営改善を行う計画となる。改善計画の提出があり、認定された場合に認定農業者となるため、申請がなければ含まれない。
委員	遊休農地を農地に戻そうとする取組はあると思うが、安定した農業経営をしたくても難しいという声も聞く。農地を増やしても、それに見合う対価が得られなければ経営として成り立たない。こうした課題をどのように考えているか。
事務局	農業については採算が取れないという課題があり、市としても補助金による支援を行っている。今年度、農業振興ビジョンを策定する予定であり、その中で具体的な内容を検討していくことになる。
副部会長	資料２ページに「目標地図」とあるが、イメージが分からない。どのようなものか。
事務局	地域計画において、各地区で今後の農地利用や担い手への集約について協議を行って計画を立てた。その結果を踏まえ、どの筆を誰が担うかを地図に落とし込んだものが目標地図である。
副部会長	作物を示す地図ではなく、誰がその農地を耕作するかを示す地図という理解でよいか。
事務局	その理解でよい。
副部会長	オーガニックビレッジ宣言は良い取組である一方、有機農業は農薬や除草剤を使わない分、労働力が多くかかる。労働力不足が課題となっている中で、矛盾した方向にならないか懸念がある。
事務局	オーガニックビレッジ宣言は、有機農業の産地づくりを市として目指そうという宣言である。本市は標高の高さや冷涼な気候により、病害虫が比較的少ないという特徴がある。有機農業に適した土地の利点を生かした取組として位置付けている。
副部会長	有機農業に取り組む人が増えるよう、ぜひ良いアイデア

	や実践例を紹介してほしい。
副部会長	続いて、「林業」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「林業」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	各地区には財産区があると思うが、森林環境譲与税の活用対象に財産区も含まれるのか。
事務局	財産区については既に財産区として成り立っているため、森林環境譲与税の活用対象には含まれていない。
委員	財産区は地域との関わりが大きい。区民も森林管理に関わり、一緒に管理を行っている。しかし、高齢化により各地区で大変な状況にある。 KPI の数値には裏付けがあるのか。
事務局	数値については、担当課と相談し、現在計画されている内容を踏まえて設定している。
副部会長	ある企業が森林整備を行っている例を知っているが、市が行う森林整備とは別のものなのか、一緒のものなのか。市ではどのように進めているのか。
事務局	森林経営管理制度という制度があり、経営管理されていない森林について、市が所有者へ意向調査を行う。意向調査の結果から、境界確認や測量等を実施し、経営が可能と判断される場合には、意欲のある事業者へ委託する。このように委託したものもあれば、会社個人として行っているものもある。
委員	鳥獣被害について、担い手の高齢化や減少が課題である。鳥獣は一定の臨界点を超えると手に負えなくなるため、早急に担い手の確保が必要である。他市では猟友会だけに任せず、公務員が資格を取得するような話も聞く。佐久市ではどのように進めているのか。
事務局	鳥獣被害対策の担い手支援については、狩猟免許等の資

	格取得に対する補助金を出し、担い手の確保に向けた取組をしている。
委員	緊急かつ重要な課題であるため、対応をお願いしたい。
委員	中古住宅や空き家の相談を受ける中で、畑や山林など財産一式をまとめて売りたいという話がある。しかし、所有者自身も山林の範囲が分からないことがすごく多い。所有の範囲が分からなければ、自分の山の管理もできていない。所有者が管理をしないのは、自分の所有範囲が分からないという所から始まっているのかもしれない。国土調査と同様に、山林も所有の範囲を明確にすることが必要ではないか。また、依頼を受けて山林を管理するのに手を挙げている企業やNPO団体などはどのくらいあるのか。
事務局	市ホームページ上の情報では、意欲と能力のある経営者が6社、さらに意欲と能力のある林業経営体へと育成を図る林業経営体が2社ある。
委員	移住セミナーに行くと、勤め先がないという方が多い。農業や林業で担い手不足のところがたくさんあるので、そういう人たちとマッチングするシステムを構築していけば、興味を持っている若者を確保できるのではないかな。難しい仕事だと思うが、システムが構築しやすいと思うので、林業体験などもセミナーに取り込んでもおもしろいのではないかな。
副部会長	続いて、「水産業」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「水産業」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
副部会長	佐久漁協等で特に困っているのはカワウ対策である。非常に増えてしまい、川にいる魚が食べられてしまっている。追い払いなどを行っているが、なかなか減らない。小諸市では宅地から離れた場所で狩猟の許可が得られていると聞くが、佐久市では許可される場所が少なく、銃による駆除ができない状況になっている。市としてももう少し支援が必要ではないか。

	また、佐久鯉については作り方や料理の仕方は発信されているが、食べることでどのような良さがあるのかというPRも必要である。昔は出産後や病気回復のために食べる習慣もあった。私も食べてみて栄養面の良さを感じているので、栄養面での良さをPRすれば消費量増加につながるのではないか。
副部会長	続いて、「工業」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「工業」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	工場誘致について、定住人口を増やすためには働く場所が必要である。大学進学等で東京へ出た若者が戻ってこない背景には働き場の不足もある。既存企業に配慮して誘致を控えるという考え方は違うのではないか。良い企業を積極的に誘致すべきである。そうすれば働く人が増えて、人口も増えてくる。そういう活動こそ大事である。また、佐久市健康長寿産業振興ビジョンがあるので、健康長寿産業に関わる企業を積極的に誘致すべきである。佐久市は、佐久長聖高校がありスポーツに恵まれているので、スポーツ産業なども含め誘致が必要である。
事務局	誘致を全く行わないという趣旨ではない。市内企業の支援も必要であり、昨年度策定した企業立地戦略のアンケートでも、市内企業から、増設したくても土地がないという意見が複数寄せられている。既存企業の事業拡大を支援しつつ、誘致も含めて考えるものである。健康長寿産業についても、関係する団体へのインタビューをする中でも健康長寿がブランドとしてある中で、そういう強みを生かし、企業とのコラボレーションによるイノベーション創出をしていけるよう、担当課とも相談したい。
委員	企業誘致によって人材の奪い合いが起きるという話も聞くが、あまり気にしすぎる必要はないのではないか。
委員	臼田の工業団地は完成しましたよね。次の計画はあるのでしょうか。

事務局	担当課で検討を進めている。
委員	総合計画の中ではどういう位置付けになるのか。
事務局	計画本文では、特定の場所を明示していないが、そういう事も視野に入れて臨んでいきたい。
委員	この後の土地利用計画には関係してくるのか。
事務局	同様のスタンスである。
副部会長	今後 A I が社会に入ってくる。A I によって工業の形がどう変わるかを想定しておく必要がある。10 年先を考えると、従来型の工業誘致とは異なる視点も必要ではないか。
委員	確認であるが、今回の整理は大きな方向転換なのか。これまで「企業誘致」であったものが「企業立地」に言葉を変えている。既存企業に配慮することも大事だが、中部横断自動車道の開通などを考えると、見出しを「企業立地の推進」へ舵を切ってよいのか。市長の意向もあると思うが、大きな方向転換に見える。その辺りの言葉遣いについてどう考えているか。
事務局	大きく舵を切ったという認識ではない。誘致の側面と既存企業への配慮という両方を織り込んだ表現として「企業立地」という形に改めている。
委員	企業を外から連れてくる、外部人材の誘致という視点が大きな見出しから落ちると、市内に閉じこもった印象を与える。10 年間を見据えた時に若干疑問を感じる。
事務局	大きく転換したというよりも要素として集約したニュアンスが強い。担当課とも改めて確認する。
委員	佐久市は県内でも一番交流の拠点になっている都市だと思うので、もう少し外から呼んでくるという意味合いがあってもおかしくないと思う。佐久市の良さが後ろ向きに見えてしまうのはいかなものか。
委員	新計画への方向性で「継続・維持」、「縮小」が多いように感じる。なぜ「拡大」ではないのか。

事務局	今まで通り維持していくという認識を担当課として持っている。ご指摘は受け止めたい。
副部会長	続いて、「商業・サービス業」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「商業・サービス業」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	キャッシュレス決済について、具体的にはどのような取組か。
事務局	今後、検討していく。
委員	佐久市には優れたコンテンツがあると思うが、これだけではなかなか見えてこない。例えば「日本三大ケーキのまち」のように、言ったもの勝ちの面もある。県外から人を呼び込む時に、何か一つ尖ったものを打ち出すことも必要ではないか。特定の業種をフォーカスすることで展開しやすくなる。アニメや地域にゆかりのある人物など、他地域にはない資源を入れた方がよい。計画に個別具体的に入れることは難しいかもしれないが、展開につながる要素として検討してほしい。
委員	中小企業への資金需要に対する支援について、政策金利が上がっている中、県や周辺市町村の制度資金との比較も含め、このままでよいとは限らない。佐久市の制度資金は使いやすいという声を聞く一方、外部環境が変われば使われなくなるリスクもある。外部環境を捉えた政策が必要である。
副部会長	続いて、「観光」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「観光」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	KPI について、究極の目標は今後の佐久市の人口が減らず

	に保つ、あるいは増えていくことであると考え。観光は目的ではなく、移住につなげることが今後課題になってくる。魅力ある観光地づくりに加えて、魅力あるまちづくりをしてまち自体が活性化していく事が、人口を増やす事につながっていくと思う。
事務局	究極の目標という点では、重点プロジェクトの中で出生率や社会増を位置付けている。観光から移住につなげる視点は重要である。担当課とも共有したい。
委員	佐久市は近隣から人が来ているが、知名度では小諸に負けている面がある。通過点になってしまっており、宿泊型観光が弱い。宿泊を伴う施策が必要である。
委員	観光というより、社会増につながるかどうか重要である。スポーツ大会等で来ても泊まる場所がない。合宿施設も不足しており、通り過ぎるだけになってしまう。イベントがあるだけで、通年で来たい観光地があるかという弱い面がある。あっても整備がされていなく、大勢の人が来るのに対応できない。佐久市は「観光地」ではなく「住みやすいまち」を押し出す方向でもよいのではないか。他では出来ない事を佐久市ではできるという事をアピールしていくのも一つの手だと思う。
委員	鮎や鯉など、食べ物を名所にする方法もある。地域の食を集約して打ち出すことも考えられる。自分たちで名所を作ればよい。
委員	ケーキ、酒蔵など、いろいろなアピールの仕方があると思う。
委員	バルーンフェスティバルはキラーコンテンツである。しかし、GW にしか開催しない。例えば風景がきれいなので、3Dで体験できるシアターのようなものがあれば、来訪のきっかけになる。長岡の花火シアターのような例も参考になる。
委員	子どもが参加すれば親も参加する。地域の人が持っている技を活用することも大事である。
委員	鯉まつりでも、小学生の発表があり、三世代で見に来ていた方もいた。目玉は鯉こくの振る舞いだが、すぐに終わ

	ってしまう。バルーンフェスティバルや鯉まつりは GW に開催するので、時期をずらして鯉などを振舞える機会があるとよい。今は佐久の人でも鯉を食べる事が少ないので、食べてみたいという人が結構いる。需要を発掘していかないといけない。観光協会では HP のメインに発酵食を据えている。食の体験ができるような発信をしている。
委員	団体旅行で寄れる場所がないことも、観光が衰退している理由の一つではないか。
委員	龍岡城五稜郭は資源である。元の姿に戻す、あるいは新しく整備する計画があるとよい。 松本市ではタクシー運転手が英語で案内できると聞く。佐久市にも語学に堪能な人がいるため、声がかかれば協力できる人もいると思う。
副部会長	続いて、「就労・雇用」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【経済・産業分野】「就労・雇用」に基づき説明
副部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	多様な担い手について、現行計画では幅広い人材を対象としていたが、新計画では女性だけにフォーカスされているように見える。多様な担い手という趣旨が狭くならないようにした方がよい。
事務局	今回、女性活躍を佐久市の特徴として推進していきたいと考え、そのような整理となっているが、検討したい。
委員	「障害」の「害」の表記は変えた方がよいのではないか。
委員	県ではひらがな表記を推奨しているが、法律上では漢字表記になっており、使い分けている。

(2) 第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案について

副部会長	議題の(2)「第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案について」事務局から説明をお願いします。
事務局	第三次国土利用計画（佐久市計画）骨子案【概要】に基づき説明
委員	短い時間で全体を確認するのは難しいが、第2章第2節の地域別の取組事項には、さまざまな内容が含まれている。荒廃してしまった農地をどうするかという視点が必要である。森林化してしまったものは森林として整理することも考えられるのではないかな。また、ハザードに対して地域で何をしていくのかという事ももう少し具体的に記載してほしい。空き家については、空き家バンクだけでなく、空き家対策全体として大きな問題である。空き家の中には商売に使えるものもある。工業や商業に誘致するという事も考えられる。低未利用地についても、税制面での配慮などがあれば活用が増えるのではないかな。
事務局	再検討する。

(3) その他

副部会長	(3) その他について、事務局から何かあるか。
事務局	今回は、7月9日(木)午前10時から、議会棟で開催予定である。内容は、デジタル田園都市国家構想総合戦略の令和7年度進行管理に係る報告と、これまで審議いただいた第三次佐久市総合計画の取組内容について、委員からの意見を踏まえ担当課と調整した結果を報告する予定である。
副部会長	全体を通して何かあるか。 《特になし》
副部会長	以上で本日の全ての審議を終了とする。

3 閉会